



田村正幸

質問

飲酒運転根絶運動の取り組みや、厳罰化によって交通事故は減ってきている。しかし、一方で高齢者の交通事故は増加しているとの報告がある。今日の社会を築いてくれた高齢者を、交通事故の被害者にも加害者にもしてはならない。そこで以下について伺う。

①高齢者への交通安全対策はどのように行われているか。又、電動カートを運転する高齢者が増えているが、講習会等は開くのか。

町長答弁

春秋の全国交通安全運動に合わせて南魚沼警察署、交通安全協会等の関係機関と連絡を密にして、正しい交通マナーの実践や高齢者

の交通安全意識の高揚等のため、高齢者を対象とした交通安全教室や老人クラブ

単位の講習会を実施している。電動カートは高齢者の行動範囲を広げることや、免許が不要で操作が簡単なので普及すると考えられる。警察や関係機関、販売店と協力して10月1日から始まる高齢者交通事故防止運動期間中に実施したい。

質問

②高齢運転者の交通安全教室（安全講話、実車走行適性検査）を開く考えはないか。免許証返上の周知と、免許証返上に当たったの支援策の考えはあるか。

町長答弁

実践体験型の交通安全教育を実施し、より現実に即

高齢者の交通安全対策について

した高齢ドライバー対策を行いたい。高齢者にとって車を運転することは、病院や買い物に必要不可欠で免許証返上はいまひとつ進んでいない。家族の認識も大事だと考える。今後は広報等で周知を図る。妙高市では高齢者の交通事故防止を目的に、70歳以上の運転免許証返納者に市内で使うバス利用券2万円を配布しているが、足の確保の観点から当町でも検討していきたい。

町民スキー大会をやるう

質問

スキー観光の低迷減少が続いている。スキー客が観光客の60%を占める湯沢町にとって深刻な問題である。スキー人口拡大のために更

教育長答弁

なるスキー振興策を採るべきである。スキーの楽しさ、すばらしさを外に向けて発信していくためには、町民がもっとスキーをする機会を提供すべきだ。スキーを楽しむ日やスキー週間の設定をして町民親睦も兼ねた「町民スキー大会」をやりたい。

る、受け入れ側としての基盤づくりは町にとって不可欠である。しかし、シーズン中のスキー大会は町民の協力を得ることが難しいので、学校行事に地域が参加している三国、三俣地区型の大会を支援していきたい。又、「町民がスキーを楽しむ日」等の設定をして、町民が一日スキーを楽しむことについて検討していきたい。



町民スキー大会の開催を考えてはどうか